

2026年1月8日

「N-BOX」が2025年暦年 新車販売台数 第1位を獲得 ～軽四輪車 新車販売台数において 11年連続の首位獲得～

Hondaの軽自動車「N-BOX（エヌボックス）」の2025年暦年（1～12月）における販売台数が201,354台^{※1}となり、登録車を含む新車販売台数において第1位^{※2}を獲得しました。暦年の新車販売台数において4年連続、軽四輪車 新車販売台数においては11年連続の首位獲得となります。

N-BOXシリーズの詳細については、製品サイトをご参考ください。

N-BOX 製品サイト <https://www.honda.co.jp/Nbox/>



N-BOX シリーズ



※2022年～2025年の登録車を含む
国内新車販売台数第1位（全軽自協・
自販連調べ）



※N-BOXシリーズ（N-BOX、N-BOX+、
N-BOX SLASH）2015年～2025年
国内軽自動車新規届出台数第1位
(全軽自協調べ)

2023年10月に発売された3代目となるN-BOXは、軽乗用車最大級^{※3}の室内空間や全タイプに標準装備とした先進の安全運転支援システム「Honda SENSING（ホンダセンシング）」^{※4}、力強さと優れた燃費性能を両立するパワートレーン、高い操縦安定性や乗り心地の良さがもたらす上質な走りなどが評価され、幅広い層のお客様にご愛用いただいている。

また、2025年12月に「N-BOX CUSTOM（エヌボックス カスタム）」に特別仕様車として設定した「BLACK STYLE（ブラックスタイル）」は、ブラックをアクセントとした内外装パーツの採用により、スタイリッシュで洗練されたデザインとし、特別感を際立たせたことでN-BOXシリーズの選択の幅を広げています。

これからもN-BOXは、日本中のお客様の豊かな暮らしに貢献していきます。

※1 一般社団法人 全国軽自動車協会連合会（全軽自協）調べ

※2 一般社団法人 日本自動車販売協会連合会（自販連）および全軽自協調べ

※3 2025年12月時点。室内三寸法（室内長、室内幅、室内高）に基づく。Honda調べ

※4 Honda SENSINGは、ドライバーの運転支援機能のため、各機能の能力（認識能力・制御能力）には限界があります。

各機能の能力を過信せず、つねに周囲の状況に気をつけ、安全運転をお願いします。詳細はホームページをご参照ください。

<https://www.honda.co.jp/hondasensing/>

■N-BOX シリーズ発売以来の歩み

2011年12月 N-BOX 発売
2012年 7月 N-BOX + 発売
2014年 3月 累計販売台数 50万台達成
2014年12月 N-BOX SLASH 発売
2016年12月 累計販売台数 100万台達成
2017年 9月 2代目 N-BOX 発売
2019年 2月 累計販売台数 150万台達成
2021年 5月 累計販売台数 200万台達成
2023年10月 3代目 N-BOX 発売
2023年12月 累計販売台数 250万台達成
2024年 9月 N-BOX JOY 発売

■N-BOX シリーズ暦年販売台数推移と最近の主な記録（自販連および全軽自協調べ）

- ・軽四輪車順位 暦年（1月～12月） 11年連続第1位（2015年～2025年）
- ・四輪総合順位 暦年（1月～12月） 4年連続第1位（2022年～2025年）

	販売台数	軽四輪車順位	四輪総合順位
2011年	2,860台	45位	165位
2012年	211,155台	2位	4位
2013年	234,994台	1位	3位
2014年	179,930台	2位	5位
2015年	184,920台	1位	2位
2016年	186,367台	1位	2位
2017年	218,478台	1位	1位
2018年	241,870台	1位	1位
2019年	253,500台	1位	1位
2020年	195,984台	1位	1位
2021年	188,940台	1位	2位
2022年	202,197台	1位	1位
2023年	231,385台	1位	1位
2024年	206,272台	1位	1位
2025年	201,354台	1位	1位
累計	2,940,206台	—	—